



住民自らの行動に結びつく  
水害・土砂災害ハザード・リスク  
情報共有プロジェクト

## 令和2年度 of 取組紹介

1. 兵庫県域メディア連携協議会の参加機関の取組
2. 近畿地方整備局管内における取組(情報提供)
3. 参加各機関の取組

○国土交通省では、水害情報などの提供・伝達方法を充実させることを目的に、平成30年10月に「住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト」を立ち上げ、同年12月にプロジェクトリポートをとりまとめた。

## ○プロジェクト参加団体

### <マスメディア>

日本放送協会(NHK)、一般社団法人日本民間放送連盟  
 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟  
 NPO法人気象キャスターネットワーク  
 エフエム東京  
 全国地方新聞社連合会  
 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICS)

### <ネットメディア>

LINE株式会社、Twitter Japan株式会社  
 グーグル合同会社、ヤフー株式会社  
 NTTドコモ株式会社、KDDI株式会社  
 ソフトバンク株式会社

### <行政関連団体>

一般財団法人マルチメディア振興センター(Lアラート)

### <市町村関係者>

新潟県見附市

### <地域の防災活動を支援する団体>

常総市防災士連絡協議会

### <行政>

国土交通省水管理・国土保全局、道路局  
 気象庁

情報を発信する行政、情報を伝えるマスメディア、ネットメディア関係者等が、互いの特性を活かした対応策、連携策を検討。主な論点を、右記課題1～課題3とし、33項目の取組がまとめられた。

## ○住民自らの行動に結びつける新たな6つの連携プロジェクト

～受け身の個人から行動する個人へ～

### 課題1 より分かりやすい情報提供のあり方は

#### **A: 災害情報単純化プロジェクト** ～災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求～

水害・土砂災害情報統合ポータルサイトの作成、情報の「ワンフレーズマルチキャスト」の推進、気象キャスター等との連携による災害情報用語・表現改善点検

### 課題2 住民に切迫感を伝えるために何ができるか

#### **B: 災害情報我がことプロジェクト**～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

地域防災コラボチャンネル(CATV×ローカルFM)、新聞からのハザードマップへの誘導、マイ・ページ機能の導入、テレビ、ラジオ、ネットメディア等が連携した「マイ・タイムライン」普及

#### **C: 災害リアリティー伝達プロジェクト**

～画像情報の活用や専門家からの情報発信など切迫感とリアリティーの追求～

河川監視カメラ画像の積極的な配信、専門家による災害情報の解説、ETC2.0やデジタルサイネージ等を活用した道路利用者への情報提供の強化

#### **D: 災害時の意識転換プロジェクト**

～災害モードへの個々の意識を切り替えさせるトリガー情報の発信～

住民自らの避難行動のためのトリガー情報の明確化、緊急速報メールの配信文例の統一化

### 課題3 情報弱者に水害・土砂災害情報を伝える方法とは

#### **F: 地域コミュニティ避難促進プロジェクト**

～地域コミュニティの防災力の強化と情報弱者へのアプローチ～

登録型のプッシュ型メールシステムによる高齢者避難支援「逃げなきゃコール」の提供、「避難インフルエンサー(災害時避難行動リーダー)」への情報提供支援

上記課題を具体化させるために

※「ふるさとプッシュ」は「逃げなきゃコール」に名称変更となりました。

#### **E: 災害情報メディア連携プロジェクト**

～災害情報の入手を容易にするためのメディア連携の促進～

テレビ・ラジオ・新聞からのネットへの誘導(二次元コード等)、ハッシュタグの共通使用、公式アカウントのSNSを活用した情報拡散

# 現時点における各取組状況および共有情報の位置付け等 一覧

項目	全体会議 (本省)	近畿地方 メディア連携 協議会 (整備局)	兵庫県域 メディア連携 協議会 (事務所)
<b>A:災害情報単純化プロジェクト</b>			
①水害・土砂災害情報統合ポータルサイトの作成	●	●	同左
②DIMAPSIによる災害ビッグデータを含む事前情報・被害情報の一元表示	●	●	
③一元的な情報伝達・共有のためのLアラート活用	●	—	
④「ワンステップ・マルチキャスト」の推進	●	●	
⑤災害情報(水害・土砂災害)用語・表現改善点検会議の実施	●	●	
⑥天気予報コーナー等での水害・土砂災害情報の平常時からの積極的解説	●	●	
⑦災害の切迫状況に応じたシームレスな情報提供	●	—	
<b>B:災害情報我がことプロジェクト</b>			
⑧地域防災コラボチャンネルの普及促進	●	●	同左
⑨水害リスクラインによる地先毎の危険度情報の提供	●	●	
⑩ダム下流部のリスク情報の共有	—	●	
⑪ダムの状況に関する分かりやすい情報提供	●	●	
⑫天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説	●	●	
⑬テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携した「マイ・タイムライン」の普及促進	●	●	
⑭マイ・ページ～一人一人が必要とする情報の提供へ～	●	—	
⑮スマホアプリ等の活用促進に向けた災害情報コンテンツの連携強化	●	●	
<b>C:災害リアリティー伝達プロジェクト</b>			
⑯河川監視カメラ画像の提供によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信	—	●	同左
⑰ETC2.0やデジタルサイネージ等を活用した道路利用者への情報提供の強化	●	—	
⑱水害・土砂災害情報を適切に伝えるための専門家による解説を充実	—	●	
<b>D:災害時の意識転換プロジェクト</b>			
⑲住民自らの避難行動のためのトリガー情報の明確化	●	—	同左
⑳緊急速報メールの重要性の住民への周知	—	●	
㉑緊急速報メールの配信文例の統一	●	—	
<b>E:災害情報メディア連携プロジェクト</b>			
㉒新聞等の紙メディアとネットメディアの連携	—	●	同左
㉓テレビ等のブロードキャストメディアからネットメディアへの誘導	—	●	
㉔様々なメディアでの行政機関の災害情報サイトの活用	—	●	
㉕災害情報のSNSへの発信力の強化	●	—	
㉖行政機関によるSNS公式アカウントを通じた情報発信の強化	—	●	
㉗ハッシュタグの共通使用、公式アカウントのリンク掲載による情報拡散	●	—	
㉘SNS等での防災情報発信及びリツイート	—	●	
㉙災害の切迫状況に応じたシームレスな情報提供【再掲】	●	—	
㉚地方におけるメディア連携協議会の設置	—	●	
㉛水害・土砂災害情報のオープンデータ化の推進	●	—	
<b>F:地域コミュニティ避難促進プロジェクト</b>			
㉜「避難インフルエンサー(災害時避難行動リーダー)」となる人づくり	●	●	同左
㉝登録型のプッシュ型メールシステムによる高齢者避難支援「にげなきョール」	●	●	
㉞電話とAIを用いた災害時高齢者お助けテレフォンの開発	●	—	
㉟ETC2.0やデジタルサイネージ等を活用した道路利用者への情報提供の強化【再掲】	●	—	

# 1. 兵庫県域メディア連携協議会の 参加機関の取組

# ⑥ 天気予報コーナー等での水害・土砂災害情報の平常時からの積極的解説

# ⑫ 天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説

- 姫路河川国道事務所職員がラジオ関西の番組に出演し、浸水想定区域図の解説やマイ防災マップ作成等の啓発を実施。

**A: 災害情報単純化プロジェクト**  
 ~災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求~

**B: 災害情報我がことプロジェクト**  
 ~災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現~

## ○姫路河川国道事務所職員がラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」に出演 (2019年6月11日、18日)



姫路河川国道事務所職員

田名部真理さん

谷五郎さん

番組HP: <http://jocr.jp/tani/>

- トーク内容**
- 5月に開催した加古川、揖保川の減災対策協議会を振り返り
  - 浸水想定区域図をホームページで公表していること、浸水するようすを表現した模型を加古川大堰に展示していることを紹介

2019年6月11日  
収録のようす



浸水想定区域図を見る谷さん

- トーク内容**
- 「本格的な梅雨入り前に知っておくこと・備えておくこと」というテーマで出演
  - 普段から住んでいる土地の災害リスクを知った上で、洪水が起きた場合の動き方を決めておくべきと発信
  - 「マイ防災マップ」の作成を推奨

2019年6月18日  
浸水想定区域図の紹介

# ⑦⑲ 災害の切迫状況に応じたシームレスな情報提供

## ⑳ 新聞等の紙メディアとネットメディアの連携

A: 災害情報単純化プロジェクト  
～災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求～

E: 災害情報メディア連携プロジェクト  
～災害情報の入手を容易にするためのメディア連携の促進～

- 出水時(発災直前)には、河川の増水状況や体制更新情報をリアルタイムに発信。
- マイ・タイムライン、わがまちハザードマップ、川の防災情報等のサイトの簡単な概要、及びサイトへの二次元コードを広告し、住民へ水害リスクや防災情報の取得方法を周知。

### ○出水時には、リアルタイムで情報を発信（注意喚起）



2019年8月15日  
台風接近に伴う体制情報  
(姫路河川国道事務所)

### ○全国地方新聞社連合会加盟各社による広告掲載 2次元コードから「ハザードマップ」や「川の防災情報」等に誘導

**大雨・洪水の時に、慌てないために**

**我が家のタイムライン**

台風発生	・今後の台風を調べる
台風接近 (2～1日前)	・ハザードマップを再確認 ・避難する時に持って行く物を準備
雨や風が だんだん強くなる (1日～半日前)	・住んでいるところと上流の雨量、川の水位を調べる ・自治体の避難情報を確認
川の水が だんだん増える (12～5時間前)	・避難しやすい服装に着替える ・安全な所へ避難を開始
氾濫発生	避難完了!

**マイ・タイムラインをつくらう!**

「避難を判断するタイミング」「情報収集の方法」など 避難に備えた、一人ひとりの行動をあらかじめ決めておきましょう。

国土交通省

マイ・タイムラインの作り方  
マイ・タイムライン

自宅は安全な場所? わがまちハザードマップ

現在の河川情報を確認 川の防災情報

10月8日掲載(神戸新聞)  
10月9日掲載(産経新聞)

## ⑧ 地域防災コラボチャンネルの普及促進

B: 災害情報我がことプロジェクト  
～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

- (株) ジュピターテレコム(JCOM)と近畿地方整備局が協定を締結し、河川カメラの映像配信を開始。(令和2年)
- (株) ベイ・コミュニケーションズと猪名川河川事務所等が協定を締結し、河川カメラのデジタル映像配信を開始。(令和2年)

例: JCOM

### 河川カメラ(CCTV)活用案 \*番組放送イメージ

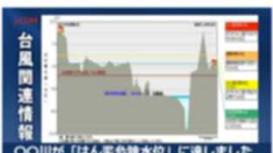


#### ① 平常時にニュース番組内で使用 \*スマートフォンでも視聴可能



関西を12のエリアに分割して放送している番組「デイリーニュース」内およびスマートフォンで、河川の平常時の映像を放送  
\*視聴者に地元の河川の平常時の様子を伝える(各放送エリアごと)

#### ② 台風など大雨時にニュース番組内で使用 \*状況に応じ常時使用する場合もあり



大雨による河川の増水時に番組「デイリーニュース」内で使用するとともに、注意喚起を行う  
\*実際に増水した映像を見せる事で、避難など自己判断および行動につなげられるようにする

#### ③ 川の防災について番組にご出演いただき視聴者に注意喚起



川の防災について番組ゲストとしてご出演いただき、ハザードマップのご説明、河川の増水時の注意事項、ダムの役割などご説明いただく

河川カメラの活用案  
＜(株)ジュピターテレコム＞



専用チャンネルで河川カメラ映像を放送  
＜(株)ベイ・コミュニケーションズ＞

# ⑬ テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携した「マイ・タイムライン」の普及促進

B: 災害情報我がことプロジェクト  
～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

- 住民自らが避難するきっかけや地域の避難先・ルートなどを確認するとともに、地域としての確実な避難に繋げるためマイ・タイムラインの普及に取り組む。
- マイ・タイムラインの普及のため、メディアによる広報等を今後積極的に実施する。

## ■メディア連携協議会・減災対策協議会構成員を対象に「マイ・タイムライン講習会」を開催

○開催日時: 9月25日(金) 14:30～16:30

### 【内容】

- ・マイ・タイムライン作成に当たっての講座
- ・マイ・タイムラインの作成
- ・マイ・タイムライン作成後の意見交換



マイタイムライン作成講座の様子

## 他事務所の取組事例

### ■みんなで逃げよう(MiNi)ワークショップ ー「防災マップ」・「マイ・タイムライン」・「地域の約束」を作ろう！ー

#### 1. ワークショップのテーマ及び実施内容

- ワークショップは2回/地区実施
- 対象は自治会役員や民生委員、地域住民

	テーマ	実施内容
第1回	・地域の災害リスクの確認 ・個人の避難行動の検討	・地域の水害リスクの説明 ・分散避難を考慮した安全な避難場所、避難方法、避難ルート、危険個所の点検 ・防災マップの作成 ・マイ・タイムラインを用いた個人の避難行動の検討
第2回	・地域の避難ルールの検討	・地域で避難を支援するにあたっての課題の検討 ・地域の支援行動の検討を行い、取りまとめ・共有

#### 2. 実施地域と日程

地区	実施内容
和歌山県橋本市	第1回12/19(土) 第2回1/16(土)

※他2地区現在調整中

# ⑬ 河川監視カメラ画像の提供によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信

- 近畿地方整備局河川部のYouTube公式アカウント「国土交通省近畿地方整備局水災害予報センター」において16チャンネル66箇所河川監視カメラ映像を配信。そのうち、兵庫県域では9箇所配信を実施。
- 平時のYouTube映像閲覧回数に比べ、出水時は閲覧回数が上昇。



検索



YouTubeによる河川監視カメラ映像配信状況  
 水防団待機水位超過(10月10日10時50分頃 ピーク水位2.0m)

【Live】大和川 佐保川 曾我川

近畿地方整備局  
 YouTubeサイト



河川監視カメラ映像閲覧回数(10月8~10日)

事務所名	河川名	チャンネル名	閲覧回数 (8日)	閲覧回数 (9日)	閲覧回数 (10日)
福知山河川国道事務所	由良川	近畿地方整備局 由良川水系	12	11	3
淀川河川事務所	桂川	近畿地方整備局 淀川水系 桂川	54	110	61
	宇治川	近畿地方整備局 淀川水系 淀川 宇治川	156	320	162
	淀川				
木津川上流河川事務所	木津川	近畿地方整備局 淀川水系 木津川	46	193	79
	名張川	近畿地方整備局 淀川水系 名張川	24	86	10
	宇陀川				
	服部川				
猪名川河川事務所	猪名川	近畿地方整備局 淀川水系 猪名川	94	144	52
	藻川				
琵琶湖河川事務所	野洲川	近畿地方整備局 淀川水系 野洲川 瀬田川	22	66	31
	瀬田川				
大和川河川事務所	大和川	近畿地方整備局 大和川水系	249	1,645	158
	佐保川				
	曾我川				
豊岡河川国道事務所	円山川	近畿地方整備局 円山川水系	8	16	3
	奈佐川				
	出石川				
姫路河川国道事務所	加古川	近畿地方整備局 加古川水系	28	44	20
	万願寺川	近畿地方整備局 揖保川水系	11	12	5
	揖保川				
	林田川				
和歌山河川国道事務所	紀の川	近畿地方整備局 紀の川水系	166	567	115
	貴志川				
紀南河川国道事務所	熊野川	近畿地方整備局 新宮川水系	71	277	26
	市田川				
	相野谷川				
福井河川国道事務所	九頭竜川	近畿地方整備局 九頭竜川水系	9	6	9
	日野川	近畿地方整備局 北川水系	3	11	4
	北川				
姫路河川国道事務所		近畿地方整備局 東播海岸	25	67	36

## ⑳ テレビ等のブロードキャストメディアからネットメディアへの誘導

## ㉑ 様々なメディアでの行政機関の災害情報サイトの活用

E: 災害情報メディア連携プロジェクト  
～災害情報の入手を容易にするためのメディア連携の促進～

- 気象キャスターによる「川の防災情報」の紹介および活用方法などの解説し、YouTubeで公開。

### ○ 毎日放送「川の防災情報」の解説



スマートフォンでも閲覧可能であると周知



「川の防災情報”気象”×”水害・土砂災害”情報マルチモニタ」  
について紹介

YouTube :

<https://www.youtube.com/watch?v=PRpjtif9PFU&list=PLAaaq2rozuzkcl4WXbALBuq1flWgyNOqV&index=19>

「身を守るために自ら確認を！『国土交通省HP』水害・土砂災害情報の確認方法を動画で解説」



# ③0 地方におけるメディア連携協議会の設置

E: 災害情報メディア連携プロジェクト  
 ~災害情報の入手を容易にするためのメディア連携の促進~

○ 近畿管内の河川事務所において、地域メディア連携協議会及び意見交換会等を開催。

## ○兵庫県域メディア連携協議会を発足（令和2年7月）



第1回兵庫県域メディア連携協議会の様子

＜参画機関＞  
 テレビ (5社)  
 新聞 (9社)  
 ラジオ (3社)  
 ケーブルTV (2社)

## 近畿管内におけるメディア連携協議会の開催一覧

担当事務所	地域	開催日
福知山河川国道事務所	京都	R 2.7.2 R 2.9.7
豊岡河川国道事務所	兵庫	R 2.7.2
姫路河川国道事務所	兵庫	
猪名川河川事務所	兵庫（大阪）	
琵琶湖河川事務所	滋賀	R 2.9.16
淀川河川事務所	大阪・京都	R 2.7.14
木津川上流河川事務所	三重	R 2.8.5
		R 2.8.6
		R 2.9.15
		R 2.9.17
		R 2.9.24
和歌山河川国道事務所	和歌山・奈良	R 2.8.27
紀南河川国道事務所	和歌山・三重	R 2.9.28

## **2. 近畿地方整備局管内 における取組(情報提供)**

# ⑤ 災害情報(水害・土砂災害)用語・表現改善点検会議の実施

# ⑫ 天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説

- 気象キャスターによる「川の防災情報」の紹介および活用方法などの解説。
- 近畿地方メディア連携協議会において、共同勉強会(基礎編)を開催。

**A: 災害情報単純化プロジェクト**  
 ~災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求~

**B: 災害情報我がことプロジェクト**  
 ~災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現~

## ○関西テレビ放送気象キャスターによる「川の防災情報」の解説



YouTube : <https://www.ktv.jp/news/feature/20200715/>

『国土交通省の防災ポータルサイト・川の防災情報の使い方』

## ○関西テレビ放送地域における防災情報の積極的解説

### 流域治水「上野遊水地(木津川上流)」

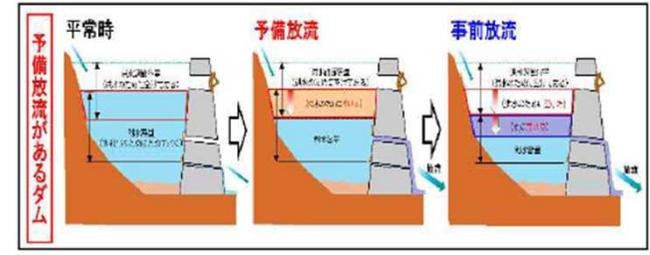


## ○参画機関を対象に水害情報・気象情報等について意見交換を実施(令和2年7月末)

### ○治水対策の考え方、河川に関する用語について紹介

#### ●既存ダムの洪水調節機能強化

利水ダムを含めた既存ダムの洪水調節機能強化に向けた取組(利水容量の洪水調節への活用や事前放流)について説明。



#### ●大雨特別警報の解除後の氾濫に対する注意喚起

大雨特別警報の「解除」を安心情報と捉えた住民が自宅に戻った後に、時間差で氾濫が発生する可能性があるため、時間差で危険が高まることを注意喚起する新しい取組を紹介。





# ⑮ スマホアプリ等の活用促進に向けた災害情報コンテンツの連携強化

B: 災害情報我がことプロジェクト  
～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

○ 個人にとって必要な情報を容易に取得できるツールとして、マイ水害リスク(試行版:大阪府域版)を構築(令和2年11月)。

○ マイ水害リスク(試行版:大阪府域版)を構築 <https://mysuigai.kkr.mlit.go.jp/MyWaterDamage/index.jsp>

マイ水害リスク

試験運用のため、試験データを  
11月9日~30日まで表示しています。

現在の位置情報を利用する

位置情報取得

住所、駅から検索する

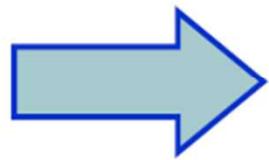
住所 駅

マイ水害リスクとは?

ご指定の地域において、注目すべき河川の水位情報と、その水位に影響する上流の雨量やダムのお知らせします。  
当該河川からの氾濫がなくとも、浸水被害が生じる場合もありますので、その他の災害情報にも注意し、適切な行動をお願いします。

国土交通省 近畿地方整備局  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kinki Regional Development Bureau  
copyright©2020 近畿地方整備局. All Rights Reserved  
CGOシンブルシコーディング実験(街区レベル位置情報提供)利用

GPS機能を活用したり、住所検索することで、最寄り河川の水位情報や雨量情報が入手できます。



マイ水害リスク

表示中の場所 柏原

1番目に近い水位観測所  
大和川水系 大和川 柏原局

現在の水位 -2.02 m  
1時間前の水位 -2.06 m

観測史上最高水位  
平成以降最高水位

グラフを見る

氾濫注意	避難判断	氾濫危険
意 -2.90 m	断 -2.80 m	険 -2.70 m

直近の雨量観測所  
柏原

現在の雨量 1.0 mm/h  
1時間前の雨量 4.0 mm/h

グラフを見る

関連するダム

2番目に近い水位観測所



地点条件検索から、最も近い水位観測所の水位データ等が危険度レベルと合わせて把握できます。

グラフをクリックすると「川の防災情報」で提供している横断図データや浸水想定区域図データが閲覧できるようにリンクを貼っています。

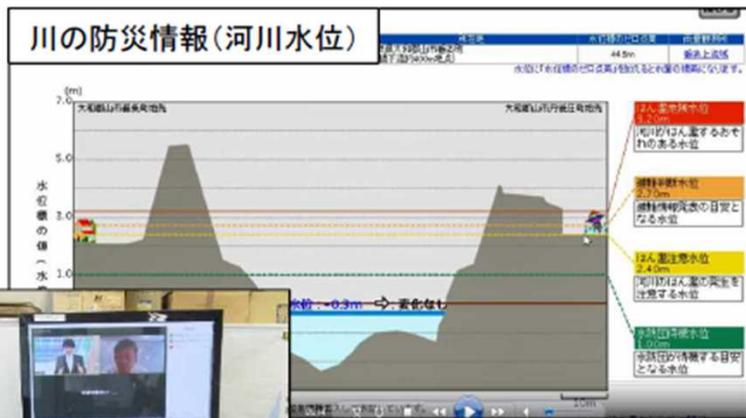
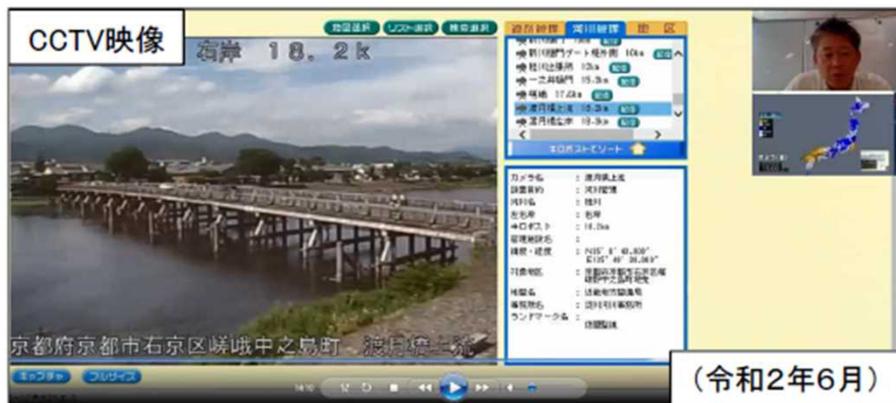
水位画面については、出水時の表示を確認できるよう試験データを表示しています。  
(11月9日~30日まで)  
※ただし、リンク先の「川の防災情報」は現時点のもの。

# ⑱ 水害・土砂災害情報を適切に伝えるため専門家による解説を充実

C: 災害リアリティー伝達プロジェクト  
 ~画像情報の活用や専門家からの情報発信など  
 切迫感とリアリティーの追求~

- NHK大阪放送局や関西テレビ、読売テレビと連携して、Web会議システムを活用した中継訓練を実施(専門家による解説)。
- 読売テレビでは、防災情報コンテンツを活用した報道訓練を実施。

## ○NHK大阪放送局とのZoom を用いた中継訓練



## ○読売テレビにおける災害シミュレーション報道訓練



### 3. 参加各機関の取組

# 姫路河川国道事務所の取組①

⑥ 天気予報コーナー等での水害・土砂災害情報の平常時からの積極的解説

⑫ 天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説

○ 姫路河川国道事務所職員がラジオ関西の番組に出演し、浸水想定区域図の解説やマイ防災マップ作成等の啓発を実施。

## ○職員がラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」に出演

○日時：令和元年6月11日・18日（火）12：09～12：16

○場所：ラジオ関西 本社

○番組：谷五郎の笑って暮らそう

○出演：パーソナリティ 谷五郎、田名部真理  
姫路河川国道事務所調査課 小野技官

### トーク内容（6月11日）

住民が「自らの命は自らで守る」意識の構築を図るため、5月に開催した加古川・揖保川減災対策協議会の開催内容を紹介

Q. 河川が氾濫したらどこが浸水するといったマップはどこから見る事ができるのか

A. ホームページで公表している。実際に浸水する状況を見ていただけるマイクロモデルという模型を加古川大堰に展示している。

### トーク内容（6月18日）

「本格的な梅雨入り前に知っておくこと・備えておくこと」について紹介

Q. 梅雨シーズンに向け、普段からどのようなことに注意すればよいか。

A. お住まいの土地の水害リスクを知ること。姫路河川国道事務所では、加古川と揖保川について「浸水想定区域図」を作成し、公表している。

Q. 災害リスクを知ったその次はどうすればよいか。

A. 洪水が起きた場合の動き方を決めるとよい。事務所では「マイ防災マップ」の作成を推奨している。いつ、どこで、どういう経路で避難するかを地図で示したもの。自治会や町内会の活動として、話し合いながら作成することで、意識向上や地域コミュニティの強化に繋がる



谷五郎さん

田名部真理さん

収録のようす（6月11日）



浸水想定区域図を見る谷さん

収録のようす（6月18日）

## 姫路河川国道事務所の取組②

### ⑬ テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携した「マイ・タイムライン」の普及促進

- マイ・タイムラインは住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近等によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるもの。
- 時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また避難判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されている。
- 一般財団法人 河川情報センターを講師とし、兵庫県域メディア連携協議会構成員・減災対策協議会構成員を対象に「マイ・タイムライン講座」を開催。

### ○兵庫県域メディア連携協議会、加古川・揖保川減災対策協議会の構成員を対象に「マイ・タイムライン講座」を開催

- 日 時：令和2年9月25日（金）14：30～16：30
- 場 所：姫路市市民会館3F 第2会議室（中ホール）
- 参加者：加古川市・高砂市・小野市・加東市  
姫路市・たつの市・宍粟市・太子町  
(株)神戸新聞社・姫路ケーブルテレビ(株) 計13名

### ○一般市民向けにも講習会を開催

- 参加者：一般市民 計38名
- 内容：加古川市総合防災マップの説明、マイ・タイムライン作成



河川情報センター  
の説明



コロナウイルス感染症対策を講じ  
スクール形式で講座を実施



マイ・タイムライン作成のようす



マイ・タイムライン作成報告のようす

## ⑧ 地域防災コラボチャンネルの普及促進

- (株) ジュピターテレコム(JCOM)と近畿地方整備局が協定を締結し、河川カメラの映像配信を開始。(令和2年)
- (株) ベイ・コミュニケーションズと猪名川河川事務所等が協定を締結し、河川カメラのデジタル映像配信を開始。(令和2年)
- ケーブルテレビは、平常時や台風など大雨時のニュース番組、スマホ用アプリで河川カメラの映像を使用。

例：JCOM  
河川カメラ(CCTV)活用案 \*番組放送イメージ

### ① 平常時にニュース番組内で使用 \*スマートフォンでも視聴可能

関西を12のエリアに分割して放送している番組「デイリーニュース」内およびスマートフォンで、河川の平常時の映像を放送  
\* 視聴者に地元の河川の平常時の様子を伝える (各放送エリアごと)

### ② 台風など大雨時にニュース番組内で使用 \*状況に応じ常時使用する場合もあり

大雨による河川の増水時に番組「デイリーニュース」内で使用するとともに、注意喚起を行う  
\* 実際に増水した映像を見せる事で、避難など自己判断および行動につなげられるようにする

★警戒レベルに達した際は、画面上に文字情報(L字)を追加発信  
★状況に応じて水位情報も付加  
\* 水位画面はPC画面よりキャプチャー

### ③ 川の防災について番組にご出演いただき視聴者に注意喚起

川の防災について番組ゲストとしてご出演いただき、ハザードマップのご説明、河川の増水時の注意事項、ダム役割などご説明いただく

河川カメラ (CCTV) の活用案

例：JCOM  
スマートフォンでも番組を配信

## ど・ろーかる

番組「デイリーニュース」は、テレビ視聴は勿論、外出先や放送エリア外でもスマートフォンでも視聴いただけます。

番組「デイリーニュース」配信  
将来的に関西各地の河川カメラを「ど・ろーかるアプリ」に掲載予定

※表示画面、カメラは未定  
※外出先でも自宅近辺の河川映像を視聴できる

テレビ、スマートフォンで視聴可能な番組配信

# 豊岡河川国道事務所の取組

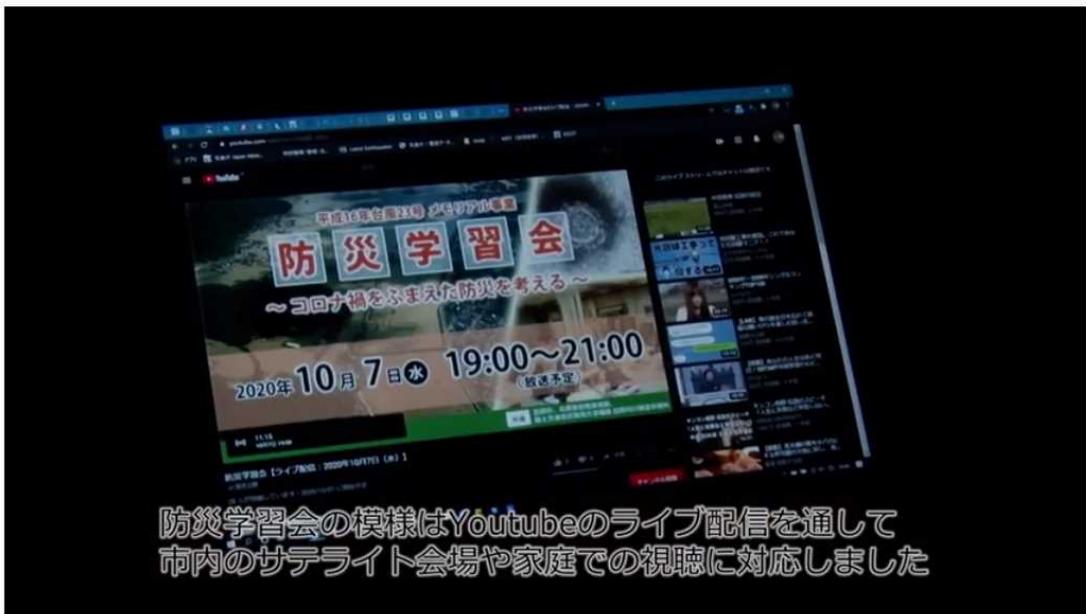
- ②6 行政機関によるSNS公式アカウントを通じた情報発信の強化
  - 平成16年10月20日の18時頃、近畿地方に上陸した台風23号は、円山川流域に豪雨をもたらし、壊滅的な被害が発生した。
  - この平成16年台風23号を受けたメモリアル事業として、過去の水害を振り返り、教訓を次世代につなげる防災学習会が2020年10月7日に開催された。2013年から開始され、今年度で8回目を迎える。
  - 今年度初めて、FMジャングルで番組を持つフリーアナウンサーが防災学習会の司会進行を務めた。
  - この様子は会場聴講に加え、YouTubeの公式アカウントを通じて広く配信し、防災に関する情報発信の強化に努めた。

## ○豊岡河川国道事務所が共催で防災学習会を実施



防災学習会の会場のようす (Youtube配信動画より)

## ○Youtubeのライブ配信を実施



Youtubeのライブ配信を通して、市内のサテライト会場や家庭での視聴に対応 (Youtube配信動画)

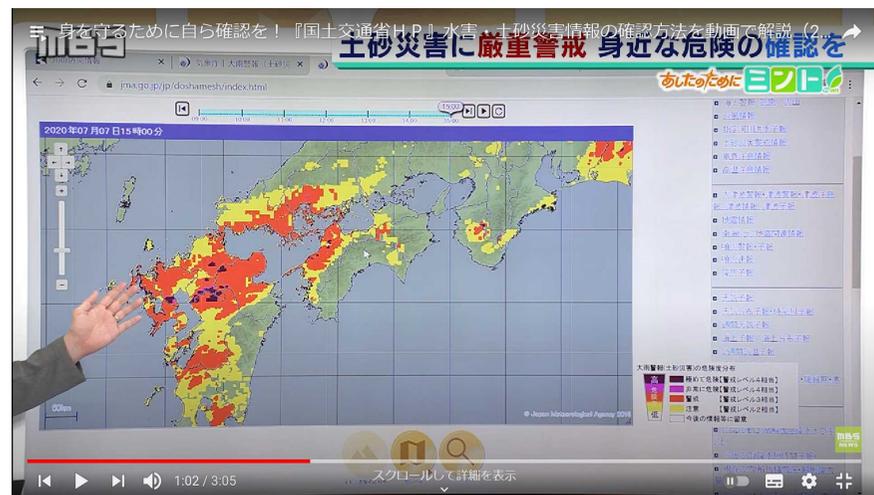
YouTube : <https://www.youtube.com/watch?v=GEpgVeq1hMA>

②4 様々なメディアでの行政機関の災害情報サイトの活用  
 ○国土交通省がインターネット上のホームページで公開している『川の防災情報“気象”×“水害・土砂災害”情報マルチモニタ』での様々な情報の見方について、気象予報士で防災士でもある前田智宏氏が解説。

## ○毎日放送「川の防災情報」の解説



「川の防災情報”気象”×”水害・土砂災害”情報マルチモニタ」について紹介



大雨警報(土砂災害)の危険度分布の見方や凡例について紹介



平常時と水位が上昇している際の河川監視カメラ映像について紹介

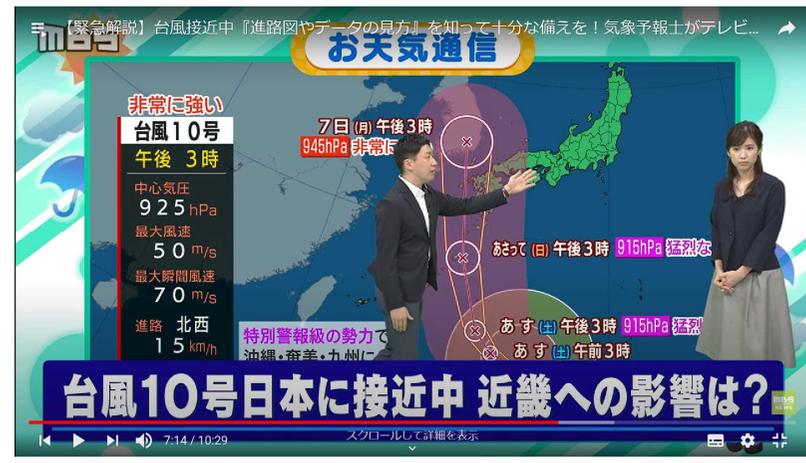


スマートフォンでも閲覧可能であると周知

②⑤ 災害情報のSNSへの発信力の強化

○毎日放送の公式YouTubeチャンネルでは、テレビ番組の気象コーナーよりも詳細な解説を行うお天気通信、「気象予報士がテレビより少〜し長く解説します！」を公開している。

OMBS NEWS 公式YouTubeチャンネル「お天気通信」



【緊急解説】台風接近中『進路図やデータの見方』を知って十分な備えを！気象予報士がテレビより少〜し長く解説します！（2020年9月4日）

<https://www.youtube.com/watch?v=2YDPfgEsXUQ&list=PLAaaq2rozuzkcL4WXbALBuq1fWgyNOqV&index=11>



【解説】「台風14号」近畿地方に接近 10月の台風は過去に大きな被害も気象予報士がテレビより少〜し長く解説します！（2020年10月8日）

<https://www.youtube.com/watch?v=QXxaZW3q8Ts&list=PLAaaq2rozuzkcL4WXbALBuq1fWgyNOqV&index=6>



【解説】『JPCZ=日本海寒帯気団収束帯』ってナンデスカ!?「大雪の原因」について気象予報士がテレビより少〜し長く解説します！（2020年12月4日）

<https://www.youtube.com/watch?v=94SXaPdEjW0&t=123s>